

敬老の日にメッセージキーホルダーを作ろう



世界に一つだけのプレゼント じいじとばあば、喜んでくれるかな

祖父母に日頃の感謝を込めてプレゼントを作ろうと、未就学児親子が参加しました。親子たちは「じいじとばあばにあげる」と意気込み、ペンで祖父母の顔など思い思いの絵を描き、「ありがとう」「だいすき」などのメッセージを添えたプラバンをラミネート加工してキーホルダーを完成させながら、祖父母の笑顔に思いをはせていました。

9月17日 | 守山宿・町家“うの家”

いちじくフェア



安全で甘い果実をPR 地域のブランド力向上へ

「湖畔のいちじく」のブランド力向上と新たなファン作りを目的に開催されました。今浜町を中心に栽培されている湖畔のいちじくは、県の「環境こだわり」の基準に沿って栽培されています。訪れた親子は「小さい子どもにも、安心して食べさせることができる」と、おいしそうに試食のいちじくを頼っていました。

9月15日 | SHARING COMMUNITY MAGNETS(今宿四丁目)

誕生釈迦仏が束の間の里帰り



寺宝の仏像を彼岸法要で公開 地域住民が熱心に参拝

大光寺で、昭和26年から県琵琶湖文化館に預けていた「銅造誕生釈迦仏立像」(市指定文化財)が72年ぶりに里帰り。お彼岸の法要に合わせて地域住民がお参りしました。像高約13cmの小さな誕生仏はすぐに文化館に戻されるとあって、訪れた住民は、じっくりと観賞して拝んだり撮影したりと、名残りを惜しんでいました。

9月23日 | 大光寺(守山一丁目)

ほたるの森資料館が来館40万人達成



40万人目は吉川 実咲さん(草津市在住) 市長とツバキの苗木を記念植樹

ほたるの飼育研究やパネル展示などで「ほたるのまち守山」の拠点となっている、ほたるの森資料館で、40万人目の来館者、吉川 実咲さん(小学4年生)と祖父の原田 篤さんを迎え式典が行われました。お祝いの記念品を贈られた吉川さんは「光ってきれいなホテルをまた見に来ます」と話し、市長とツバキの苗木を記念植樹しました。

9月19日 | ほたるの森資料館



守山市の人口

令和5年9月30日現在
(前月比)

人口	85,846 (+ 42)
男	42,256 (+ 1)
女	43,590 (+ 41)
世帯数	34,900 (+ 30)

感じた。いくことも大切である(も)

が父子で共に汗を流して
いた▼父(私)の教え方が
うまいのか、特訓の成果も
あり、ようやく様になって
きた。近年、子どもの体力
と運動能力の低下が危惧
されている。外遊びの機会
をもっと大人が仕掛けて
いくことも大切である(も)



残暑も和ら
ぎ、朝夕と
やても過こし
な季節とな
った。